

# 看護ひろしま

広島県看護協会報

2022  
September  
No.245

9

私の防災だより  
あの日を忘れない

特定行為研修修了者の活動

医学・看護的視点での医療提供

看護職の美容

職場紹介

助産師職能委員会コーナー  
めざせイクファミ!子育て孫育て

研修会レポート  
地域包括ケアにおける看仏連携

支部活動報告～広島東、廿日市、三原・尾道

【Topics】  
訪問看護版インターンシップ

【Information】  
2023年度の入会案内について  
オンライン研修受講時の注意事項について



Hiroshima Nursing Association  
広島県看護協会  
会員数：合計20,030人  
(令和4年9月1日現在)

# 私の防災だより

広島県厚生農業協同組合連合会 吉田総合病院 看護部長室

看護部長 谷川 裕子 看護部長補佐 廣下 智絵 看護部副部長 大櫻 明美

## あの日を忘れない

2021年8月13日は、私達にとって忘れられない日です。病院1階が浸水、看護師となって体験したことがない事態でした。あれから1年、この時期に雨の音を聞くとあの日のことがよみがえってきます。

始業前「職員駐車場に水が溜まっていて止められない」という職員の情報から院内が動き始めました。それから間もなくして院内浸水が始まりました。「水が入ってきた」と各部署からの報告でPHSは鳴り続けます。同時に情報を伝えようとしても相手に繋がらない状態で、院内が大変なことになっているということしか浮かびませんでした。職員が集まることもできず、各部署は患者の安全を第一に考え、判断し行動しました。特に道路から低い位置にある精神科病棟では、腰の高さの窓を越えそうな勢いの水が流れていました。それを見た瞬間「このままでは病棟に一気に水が入ってくる」と恐怖を感じました。病院の管理者への報告と同時に避難指示を受けたのですが、そのあとエレベーターが浸水し使えないという情報も届きました。そこで、移送は普段、職員でも使用することのない経路を示し、医師、スタッフによって患者全員が無事に避難できました。外来診療は、場所を変えて当日の夜間から診療を継続しました。



正面玄関から水が入ってきている場面

それから病院がもとのように戻れるよう復旧に努めました。

この災害の体験を通して、看護管理者には次から次に発生する問題に「一瞬の判断」が必要だと改めて感じました。その一瞬の判断の為には、日頃から院内の構造、使える通路や物品などを把握していることは重要です。私達管理者は、時間が経つにつれ体験したことが薄れていかないよう「あの日のこと」として伝えていきたいと思えます。

今年、病院では、防災対策として導入した止水板の取り扱い、災害時の動きについて確認しています。職員と「もう1年がくるね」とあの日のことを思い出しています。



病院1階の浸水



今年導入した止水板を看護師が設置している場面

# 医学・看護的視点での医療提供

広島大学病院 副看護師長 宮崎 ひとみ

特定行為とは、従来の「患者の状態を医師に報告→医師の具体的指示→医療行為の実施」という流れではなく手順書(医師の包括的指示)をもとに特定の患者に対し、手順書記載の病状の範囲内で特定の医療行為を行う事ができます。

当院の現状から、患者の待ち時間や医師の業務負担軽減、適切なタイミングでの処置実践による重症化予防、治癒促進のためにも、タイムリーな特定行為実践が必要であると考えました。研修修了後は、看護部や診療科の医師などと特定行為実践の必要性や活動の相談をし、手順書の作成を行いました。

院内では、外来通院患者の膀胱瘻交換(約250件)、入院中の褥瘡患者に対して壊死組織除去(約35件)や創傷管理をする上で陰圧閉鎖療法が必要な患者の処置(約50件)をこれまで継続的に実践しています。実践前には、手順書どおりの病態であることを判断し、患者と家族に特定行為実践の説明と安全を担保した上で適切な手技で実践することを説明します。処置時には、何を行っているか丁寧に説明しながら実践、さらに安楽な体位がとれるよう援助し、患者や家族の不安にも耳を傾けています。また、フィジカルアセスメント、臨床推論等を

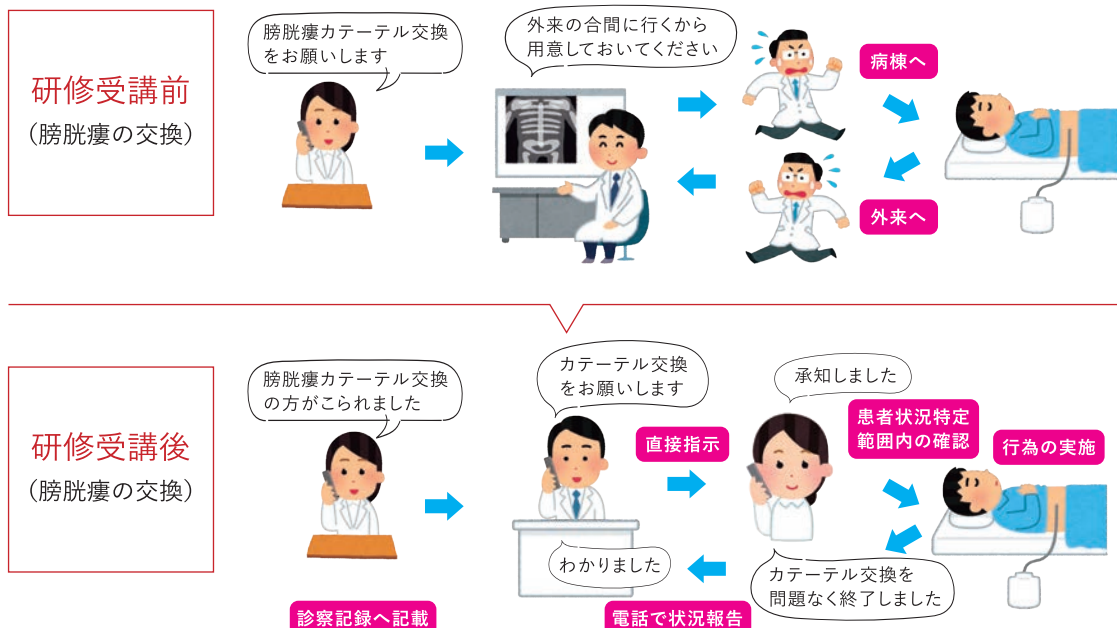
活用し、医学的視点から多角的・多面的に捉え分析していくことで、行為中に、薬剤性の電解質異常となっていた患者に、適切な処置を提供することができ、早期発見と重症化予防につながりました。

実践する上で大切にしていることは、患者の訴えやサインを見逃さないこと、患者の生活と治療を切り離さず支援できること、医師及び他職種間のコミュニケーションを自ら積極的に行っていくことです。

超高齢社会に直面している現在、医師、看護師や多職種と協働・連携するチーム医療が重要となってきます。私は、患者、家族のサポート役として、看護に軸足を置き、医師や他職種との架け橋となるような看護を提供していきたいと思っています。



膀胱瘻の交換



## フィットセラピーで保湿ケア

フィットセラピーとは、植物の力で体や心をケアする植物療法のことです。私の勤務する病院では、症状に応じた精油をブレンドしたオイルを使用して、患者さんの日々のケアや、職員も自らのスキンケアなどに取り入れています。

今回は、毎日の手洗いや手指消毒などで手荒れが気になるとの声聞き、アロマオイルを使った保湿ケアについてご紹介したいと思います。

木や花、果物などの芳香植物から抽出された精油には様々な効果・効能があり、精油を用いたオイルケアでは具体的に、肌に潤いを与え保湿や柔軟、ターンオーバーの促進、肌荒れの予防や皮膚のバリア機能の向上をサポートする効果などがあります。また、精油の芳香により気分を落ち着かせる、リフレッシュするなどの効果もあります。ちなみに、私はちょっと疲れたと感じた時や気分をすっきりさせたいときは、マスクにユーカリやミントの精油を1滴垂らしてリフレッシュしています。

こちらは私の下腿部の写真です。乾燥と痒みが強く、皮膚科に受診すると皮脂欠乏性湿疹との診断でした。ステロイドの外用薬により炎症は落ち着きましたが、乾燥と色素沈着がなかなか改善せずオイルケアを開始。乾燥による痒みも落ち着き、色素沈着が改善しました。



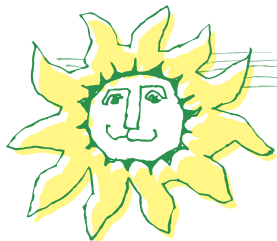
当院で使用しているオイル。保湿・血行促進・鎮静作用など目的に応じて使い分けます。

皆様も、肌や心のサポートにアロマオイルでのスキンケアを取り入れてみてはいかがでしょうか。

広報委員

上田 雪絵

(医療法人社団八千代会 メリィホスピタル)



## 日焼け止めの豆知識

UVケア商品に表記されているSPFとPAについてご存じでしょうか？SPFはUV-Bの防止効果を表す数値で、皮膚が赤くなり日焼けをおこすまでの時間を何倍に延ばせるかの目安です。SPF50であれば、例えば10分で赤くなる肌の人であれば10分×50=500分となります。PAはUV-Aの防止効果を+で表示したもので、+が多いほど高い効果を表します。生活シーンに合わせて使い分けることや、2～3時間毎に塗りなおすことが大切になります。



## 私たちは、「共に生きる」社会の実現を目指す

独立行政法人 国立病院機構 賀茂精神医療センター 看護師長 住吉 崇史

賀茂精神医療センターは木々と池に囲まれ、敷地面積はマツダスタジアム4.5倍と自然とゆとりに溢れる環境にあります。病床数は412床(精神科312床(急性期病棟、慢性期病棟、医療観察法病棟)・重症心身障害児(者)病棟100床)です。

精神科病棟では、医師、看護師、作業療法士、心理療法士、精神保健福祉士、薬剤師等、多職種チームにより、様々な治療的側面から個性のある医療の提供(療養生活援助、薬剤調整評価、多様なリハビリテーションプログラムの実施など)や、患者と共に外出や外泊を行い、退院後の生活のイメージ化や体験することにより新たなスキル獲得、退院生活への自信の獲得など積極的な退院支援を行っています。

重症心身障害児(者)病棟では、「動

く重心」と言われる、重度の知的障害に加えて著しい行動障害により、家庭や施設での生活が困難な対象者の医療と療育を行っています。医師、看護師、児童指導員、保育士、理学療法士などが連携し、よりよい療養環境の提供と日常生活援助を実践しています。

各病棟が患者特性に応じた精神科看護を実践する他に、精神科認定看護師、感染管理認定看護師、摂食・嚥下障害看護認定看護師、CVPPP(包括的暴力防止プログラム)インストラクターが専門性のある看護実践も行っていきます。

また、当院は、広島県の災害拠点精神科病院に指定され、大規模災害時には広島県災害対策本部、他の医療機関やDMAT、DPAT(災害派遣精神医療チーム)と協力のもと対応しています。

DPATの資格を有する職員は10名(内、看護師5名)おり、平成30年7月の広島県豪雨災害時、DPAT派遣要請を受け、数力所の避難所で活動を行いました。

当院は長期入院患者が多く各季節の行事を行い、スタッフも共に楽しんでいます。例えば、夏祭り(盆踊りや打ち上げ花火など)、文化祭(患者さんの作った作品の展示や演目披露など)、クリスマスコンサート(プロの演奏家を招く)などを行っています。新型コロナウイルス感染症対策の徹底に努めながら、患者と医療スタッフが協力イベントを開催しています。

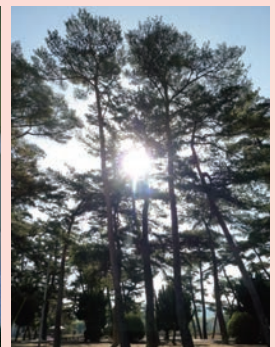
これまで、これからも私達は「共に生きる」社会の実現を合言葉に、精神科医療に取り組んでいきます。



病院全体像



病棟内の中庭



散歩道の一部



文化祭



クリスマス会



火災避難訓練

## 助産師職能委員会コーナー

国際助産師の日  
記念行事報告

### めざせイクファミ！ 子育て孫育て

助産師職能委員

石川 めぐみ

(地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院)

助産師の活動を広報し、妊婦さんと家族を対象に育児参加への機会をつくることを目的とした本記念行事は、コロナ禍で2年中止、今年は福山市で開催予定でしたが、コロナ感染の流行状況を踏まえ、急遽オンラインで講演のみ開催しました。

日本赤十字広島看護大学中村敦子先生の講演「孫育てについて～これから出産を迎えるご家族様へ～」では、祖

父母の役割は孫の長所をみつけて伝えること、アドバイスはよいが意見し過ぎないこと、夫婦間・親子間のお互いを思いやる心、「聴くこと、寄り添うこと」の大切さを実感しました。産後の支援は母親だけでなく夫婦が対象であるなど、時期に合わせた支援のポイントがわかり、受講者アンケートの満足度は100%でした。「移動や体調を気にせず参加できるのでZoom開催はありがた

かった」「抱っこの仕方やおむつ交換、着替え体験ができなかった事は残念」などの意見をいただき、参加者のニーズに応えるよう今後も企画していきます。



## 研修会レポート

### 地域包括ケアにおける看仏連携

～看護職と宗教者との新たな多職種連携の可能性を探る～

広報委員会

渡部 恵理子

(医療法人あかね会 土谷総合病院)



看仏連携研究会 代表  
株式会社サフィール 代表取締役  
河野 秀一 先生



真宗大谷派 超覚寺 住職  
和田 隆恩 先生

7月15日に広島県看護協会会館において「地域包括ケアにおける看仏連携～看護職と宗教者との新たな多職種連携の可能性を探る～」の研修が開催されました。

河野秀一先生は、僧侶の世界にもリーダーや機能評価があるという話の後、聖徳太子が建立された四天王寺が寺院(敬田院)、病院(療病院)、薬局(施薬

院)、社会福祉施設(悲田院)を備えた複合施設であったことから看仏連携に取り組み、学術研究や講演活動などを通じて普及に努め、お寺で“町の保健室”が開かれるようになった経緯を示されました。

“お寺の掲示板”で有名な超覚寺住職 和田隆恩先生は「お寺は檀家、法事、葬儀だけの場ではなく、本来の役割(原

点は四天王寺)に戻らなければならない」という考えのもと、認定臨床宗教師としてコロナ禍でも休むことなくご遺族の集いを開催し、伴侶を亡くされた方、自死遺族の方に寄り添ってこられた経験を話されました。

講演後は30分間に及ぶ活発な意見交換が行われた、有意義なセミナーでした。

## 広島東支部 研究サポート事業

広島東支部長 尾崎 仁美 (マツダ株式会社マツダ病院)

令和4年度第1回サポート事業は7月2日(土)に広島国際大学の江口千代准教授を講師にお招きし開催しました。

講義の冒頭で江口准教授が言われた、「看護とは看護の学問のため、看護研究ではなく看護学研究ですよ」という言葉に、気持ちが引き締まると共に背筋が伸びる思いがしました。また、パワフルでとても熱心な講義の最後には「学会発表を目指しましょう」とエールをいただきました。これから2月末の発表に向けて、研究活動のプロセス含め楽しみです。



研究サポート事業 講義風景

## 廿日市支部

## Web操作研修を企画しました！

廿日市支部長 黒田 智美 (独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター)



廿日市支部ではコロナの影響により、昨年度はWeb研修や会議が増えました。そこで、少しでもWeb操作に慣れていただきたいと考え「Webミーティングが苦手な方克服しませんか」と題してWeb操作研修を企画しました。各自がスマートフォンやパソコンを持参し、チャットを使ってコメント入力したり、和やかな雰囲気の中、Web操作を学びました。少しでも苦手意識を軽くできたのではないかと思います。

## 三原・尾道支部

## リフレッシュして今後の活力に！

三原・尾道支部長 柿本 文重 (広島県厚生農業協同組合連合会 尾道総合病院)

4月9日(土)支部総会を開催し、総会后研修として「沖縄民謡」の演奏を楽しみました。

癒しの琉球民謡、聴いて・踊ってリフレッシュをテーマに三原三線教室の皆様にご演奏いただきました。三線のきれいな音色、琉球民謡の唄、衣装、方言など、沖縄の雰囲気を味わうことができました。参加者みんなでカチャーシーを踊り「楽しい時間を過ごせた」「リフレッシュできた」など、とても好評で頑張れる力をいただきました。



(上)三原三線教室の皆様 (下左)琉球舞踊 (下右)カチャーシーを踊っているところ

### TOPICS



## 訪問看護版インターンシップ

インターンシップを訪問看護の魅力発信の機会と捉え、令和2年度より看護協会立の訪問看護ステーションで試行を重ねてきました。令和4年度は受入施設を県内全域に拡大し、15施設の登録がありました。

近年、在宅看護に興味のある学生が多く、夏休みのインターンシップには5校18名の学生の応募があり、8ステーションで体験を行います。

インターンシップの様子は、9月以降の看護協会のホームページをご覧ください。

## 会員担当者からのお願い

### 2023年度の入会案内について

毎年9月上旬のナースシップの登録データにより次年度の「会費のお知らせ」が作成されます。  
10月下旬から順次発送予定です。



会員情報の変更はキャリアナース(マイページ)で手続き可能です。  
キャリアナースから、現在の登録状況をご確認ください。  
口座の名義が変わった、姓が変わったなど…  
11月末までに変更の手続きをお願いいたします。

こちらから  
アクセス  
可能です



## Information

看護生涯教育・研究センターからのご案内

### オンライン研修受講時の注意事項について

「キャリアナースの受講履歴管理対象研修」では、  
オンライン上で顔が見えるようにして受講していただきます。  
「ビデオ付き参加」が必須となりますので、カメラを必ずご準備ください。  
常時、受講確認ができない場合は「欠席」になります。



「研修受講態度に問題と思われる行動」が見られた場合は通信を中止させていただくことがありますのでご注意ください。

オリエンテーション  
開始までに  
入室していない

画面から  
顔が見えない

呼びかけても  
返事がない

連絡なく  
途中から退室  
してしまう

移動しながら  
受講している  
など

●Zoomによるオンライン研修ガイドは…本会ホームページ → 教育計画 → オンライン研修受講ガイドをご確認ください

スムーズな受講のために  
ご理解・ご協力  
をお願いします。

問い合わせ

看護生涯教育・研究センター 継続教育部 TEL 082-503-2381  
E-mail kensyu@nurse-hiroshima.or.jp URL <https://www.nurse-hiroshima.or.jp>



### 色～看護の彩り～ 表紙の写真／宮島と空と海（廿日市市）

厳島は広島湾に浮かぶ小さな島で森林や古い神社仏閣で知られています。沖合に立つ壮大な朱色の大鳥居へは干潮時は歩いて観覧できる事が有名です。大鳥居は木造で総重量60tとなり根元を埋めたりせず柱の重みだけで立っている構造です。現在は修理工事が行われており本年度中で終了し来年には観光ができる予定です。また、神殿は海の影響を考え釘を使用せず波に耐える隙間がある構造で国宝となっています。広電宮島口駅もリニューアルされ是非魅力ある宮島を訪れてほしいです。表紙で各支部の色と魅力を紹介していますが瀬戸内海をモチーフにした青の色言葉は「広大、誠実」であり患者さんに関わる際に広い心で誠実に向き合っていきたいと思います。

広島県看護協会報 看護ひろしま

9月号/245号  
発行 2022年9月  
発行所 公益社団法人 広島県看護協会  
〒730-0803  
広島市中区広瀬北町9-2  
TEL:082-293-3362  
発行責任者 山本 恭子

編集 広報委員会  
制作 有限会社バル

(安光 裕子)

